



みんなで考えよう

鶴岡の街づくり

～福祉と映画と市民参画を題材にして～



2025年 7月～3月 (全9回)

鶴岡まちなかキネマ

参加費無料 (資料代別)

講師 川北秀人 水原史男 広瀬隆人
高瀬雅弘 松田道雄 青木孝弘
佐藤 滋 饗庭伸 川原晋
高谷時彦 菊池俊一

「山王キネまち大学」では、市民が企画したイベント等、映画館を舞台に、市民が主体となって福祉や文化交流を進める事業が開催されています。今回、福祉と映画とNPOとの協働をテーマに、各分野の講師をお招きし、研修会・ワークショップを開催します。行政・社協・NPO・ボランティア組織の連携・協働の有り方を考えていきましょう。

主催 公益のふるさと創り鶴岡 **共催** 鶴岡市社会福祉協議会 山王まちづくり株式会社
後援 山形県 鶴岡市 鶴岡市教育委員会 鶴岡商工会議所 山王商店街振興組合

問い合わせ・申し込み

090-1377-2488 (阿部)
koueki2025@gmail.com

右記からWebで
お申込み



どなたでも参加できます。できれば継続で参加をお願いします。

FAX 0235-22-0626

下欄に記入しお送りください。

鶴岡の街づくり お申込み

住所

氏名

連絡先

詳しくは後日、通知いたします。

7/7 18:30～ 鶴岡の福祉とまちづくり 川北秀人

鶴岡市では第三次鶴岡市中心市街地活性化基本計画および鶴岡市地域福祉計画を策定中です。少子高齢化が深刻である鶴岡市としては、福祉計画をどういった方向に向かうべきか、また市民の役割は何か、全国の事例を見ながら鶴岡市の福祉のあり方について考えます。

講師プロフィール 人と組織と地球のための国際研究所 1964 年大阪生まれ。87年に京都大学卒業。国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。

Coming soon 映画館を活用した映像文化 水原史男

映画コンテンツをアマゾンプライムやNetflix などメディアではなく、映画館で見ることに郷愁を感じて足を運ぶだけではなく、近年盛り上がりを見せる応援上映や非映画コンテンツなど、ライブ性を提供するイベントなども開催されており、さまざまな場で映画館が活用されている。いま、映画館 という視聴空間の歴史とその未来を考察する。

9月予定 地域の人材を空洞化した商店街で生かす 広瀬隆人

～「商店が集まる街」から「生活を支える街」へ～ 我が国は現在、人口減少が進み、住民向けサービスを担う行政機関の事務所や民間の事業所が縮小・減少する中、地域のコミュニティ機能の維持は、大きな課題となっている。商店街も例外なく空洞化が進み、専ら「商店」の街から、地域の住民やコミュニティが期待する多様なニーズに応える場として、地域にとってなくてはならない存在であるために必要なことを考えます。

9月予定 鶴岡の歴史と風致 大学生のフィールドワークから見えてきたこと 高瀬雅弘

鶴岡市をフィールドに弘前の大学生が現地調査し、鶴岡の歴史的風致・東北の城下町の人びと・暮らし・歴史を綴った「人と建物がひらく街の記憶～鶴岡市を訪ねて」を弘前大学出版部より刊行。その調査から見えてきた鶴岡の歴史と風致の魅力を語ります。

10月予定 「等話」組織の新たなコミュニケーション 松田道雄

職場において、人に聞きにくい・話し合いの場で発言しにくい・など不安を感じる方は多いのではないのでしょうか。職員同士牽制し合ったりせず、生き活きとした環境で働くことで、新しいアイデアが生まれ風通しの良い職場になる。近年、話し合いや関係性づくりを構築していく手法として、等話(とうわ)が関心を持たれています。等話とは「平等な会話」、互いに「問いかけ合う」日常会話から生み出される人と人との間のあり方、地域社会づくりのあり方を照らします。

11月予定 ソーシャルビジネス事業の取り組みとその評価 青木孝弘

鶴岡まちなかキネマを例にして
人口減少が続くなかで、それまで賑わいの中心だった商店街が寂れてしまい、空き店舗が次々に出てきて、櫛の歯が抜けたようになっていく。中心商店街の人口減少による空洞化に歯止めをかけ効果的な活性化策を展開するための まちづくり会社が展開するソーシャルビジネスの変遷やその手法と評価について考察します。

12月予定 鶴岡まちづくりシンポ 鶴岡のまちづくりの変遷を俯瞰する

基調 佐藤 滋 日本の都市計画家・地域プランナー。工学博士。早稲田大学名誉教授。千葉県出身。
饗庭伸 東京都立大学都市環境学部 都市政策科学科 教授
川原晋 東京都立大学、都市環境学部 観光科学科、教授 観光まちづくり、観光地域経営、都市・地域デザイン

1月予定 鶴岡の内川と景観形成 高谷時彦

講師プロフィール 日本の建築家。香川県立高松高等学校、東京大学工学部都市工学科卒業。東大時代は大谷幸夫に師事。楨総合計画事務所勤務の後、独立。楨文彦の著作『見えがくれする都市』（鹿島出版会SD選書）では、共著者の一人として「道の構図」担当。長岡造形大学、神奈川大学、工学院大学、東京大学、芝浦工業大学などの非常勤講師を歴任し、東北公益文科大学大学院特任教授を経て東北公益文科大学大学院非常勤講師。

3月予定 市民のための森林文化都市とは 菊池俊一

講師プロフィール 山形大学農学部准教授 山形大学農学部 森林科学コース准教授 公益のふるさと創り鶴岡理事
映画館鶴岡まちなかキネマの閉館を受け立ち上げた市民団体「まちキネの存続と再生を願う会」代表